

令和4年7月8日

子どものマスク着用について

瀬戸市教育委員会

梅雨が明け、本格的な夏が始まります。子供のマスク着用については、これまでも気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い時には、屋外で人と十分な距離を確保できる場合であればマスクを外すように指導しておりますが、改めてお知らせいたします。

- 十分な身体的距離（2 m以上を目安）が確保できる場合は、マスクの着用は必要ありません。
- 気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高く、熱中症の恐れがある日には、マスクを外してかまいません。
- 登下校や体育の授業においては、基本的にマスクの着用は必要ありません。

学校はこれに基づいて指導をしていますが、小学校低学年児童は、自分でマスクを外してよいかどうか判断が難しいこともあるかと思います。保護者の皆様からも、

「暑くなったらマスクを外していいからね。でもお友達とは離れて、大きな声ではおしゃべりしないようにするんだよ。」

と声をかけていただければと思います。

厚生労働省・文部科学省による資料も改めて掲載しますので、参考にしてください。



また、新型コロナウイルス感染者数が再び増加しており、第7派の声も聞かれるようになりました。様々な理由で「マスクが着用できない」、「マスクが外せない」子どもがいることに配慮していただきながら、基本的な感染防止対策の継続もお願いいたします。